

— 設備保全の情報共有・交流会 —

北海道地区モノづくり・保全研究会

<https://info-jipm.jp/f/hokkaido/>

のごあんない



ものづくり道場・ESCO・ダイキャスト保全の見学(2025年度第2回 会場:トヨタ自動車北海道株式会社)

2026年度 第1回 開催概要

日時	2026年 7月29日(水) 13時50分～ ※ 受付開始は、13時30分より開始します ※ 終了時間は、16時40分ごろを予定しています	
場所	株式会社ダイナックス 苫小牧工場 C棟 大会議室 (〒059-1362 北海道苫小牧市柏原6番地170) ※ 千歳市の“本社”ではございません。ご注意ください ※ 集合場所は、現地集合です。駐車スペースをご用意いたします ※ 参加者には、当日の詳細を別途ご案内いたします	
内容	オーダーメイド設備を支える“保全技能の高度化”と教育体系の事例 — 保全技術伝承のチャレンジと働きがいのある職場づくり — ・ ダイナックス 苫小牧工場における工場見学 ・ 取組み事例のご紹介(専用設備 × 保全技能高度化 × 教育体系の事例) ※ 見学の際は、保護具(帽子、メガネ、安全靴)の着用が必要ですのでご持参ください ※ 見学内容は現時点での予定であり、変更の場合がございます	
申込方法	メールでのお申し込み受付となります。(FUKYU@jipm.or.jpまで) ※ 1社(1事業所)につき1名までのお申込み(先着順)となります (参加お申込み期日:2026年7月8日(水)。定員到達次第、募集終了となります) (お申込み人数が定員に達しない場合は、追加募集をご案内します) ※ 同業種の方のご参加など、参加をお断りする場合がございます。 あらかじめご了承ください ※ メール送付の際は、下記内容をご入力ください ・ 件名: 北海道地区モノづくり保全研究会の申込み ・ 本文: 貴社窓口ご担当者様情報 (貴社名、所属、役職、お名前、お電話番号) ※ 上記のメール返信にて、参加者様の情報を入力いただく指定様式をお送りさせていただきます。	
年会費	・ 一般社団法人北海道機械工業会 会員価格:無料 ・ 公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 会員価格:無料 ・ 一般価格(上記以外):¥33,000-/名	



北海道地区モノづくり・保全研究会 ってなに？

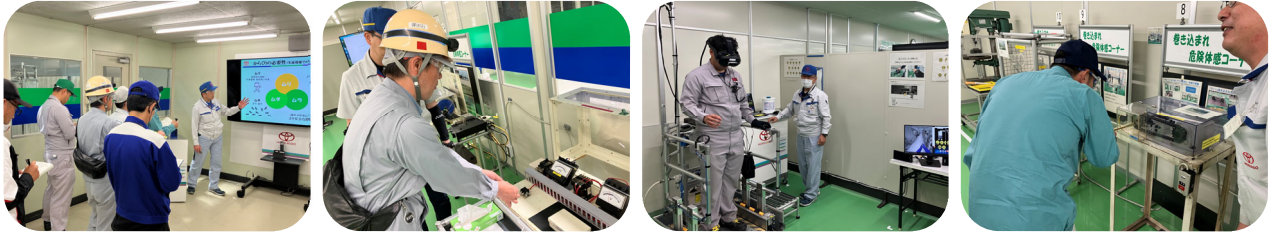
研究会活動の紹介(2025年度活動レポート)

開催概要	2025年度 第1回 (2025/7/24開催) 参加者:20名(17社)	トヨタ自動車北海道株式会社の改善活動と人財育成 ● トヨタ自動車北海道 株式会社 の改善活動と人財育成 ・工場見学(一般コース) ・ものづくり道場見学(からくり中心に安全危険体感コーナー含む) ● 見学後の質疑応答、ディスカッション
	2025年度 第2回 (2025/12/17開催) 参加者:17名(14社)	モノづくり現場でのからくり改善活用の可能性とトヨタ自動車北海道株式会社の“設備管理”の事例見学 ● モノづくり現場でのからくり改善活用の可能性 ・トヨタ自動車北海道 における からくりコンテスト エントリー設備の見学 ● トヨタ自動車北海道 における “設備管理” の事例見学 ・みんなの省エネ活動/教育紹介 ・保全に関わるDX、IoT取組み
開催場所	トヨタ自動車北海道株式会社(北海道苫小牧市字勇払145-1)	

- 開催報告**
- 2025年度北海道地区モノづくり・保全研究会は、トヨタ自動車北海道株式会社(苫小牧市)のご協力を得て、第1回(7月24日)と第2回(12月17日)の2回にわたり開催しました。
 - 両回とも「現場改善と人財育成」を共通テーマとし、第1回では「改善活動と安全危険体感」を、第2回では「からくり改善の可能性と設備管理」を深掘りしました。
 - 第1回は、工場見学とものづくり道場見学を通じ、現場従業員による低コスト改善(からくり改善)やデジタル塾での制御技術習得を見学したうえ、安全危険体感コーナーに重点を置きました。巻き込まれ・感電の疑似体験装置、切創・高所墜落を再現するVRシミュレーションは、参加者の危機意識を飛躍的に高め、「自社への導入を検討したい」との声が多数寄せられました。
 - 第2回では、現場改善法としての「からくり改善」が主題となり、重力やバネを活用した単純機構によるローコスト装置に加え、SiOやRaspberry Piを組み込んだハイブリッド事例を見学。省エネ・脱炭素化や多様な作業者対応に寄与する効果を確認するとともに、社内からくりコンテストやモノづくり道場(からくり道場・デジタル道場)による人財育成体制を再度紹介しました。続いて設備管理の事例として、2035年カーボンニュートラルを目指すESCO活動の教育プログラムと省エネ体感機、部品自動発注RPA、故障見える化アプリ、IoT導入、バディー制OJTなど、DXと人財育成を両輪とした保全力強化策が共有されました。
 - 両回の関連性として、第1回が「安全教育を核とした改善意識の醸成」を第2回の「からくり改善深化・設備管理DX」につなげ、現場力・人財育成・脱炭素の各要素を一体で推進する流れを描けたことが大きな成果です。北海道・東北両地域からの企業交流も深まり、今後はフィードバックを踏まえつつ、継続的な知見共有と実践支援を図ります。

過去の開催レポートは下記サイトからご覧ください
<https://info-jipm.jp/f/hokkaido/hokkaido3/>

(記:JIPM 奥富)



「設備保全」の業務は、「設備をいつでもロスなく稼働させる」ことが本来の役割。
 その実現には、故障をはじめとしたロスの原因を見つけて、未然に対策を行なうことが重要です。
 しかしながら、自社で得た知見だけでは、なかなか対策が難しい場合も。。。。

北海道機械工業会 と 日本プラントメンテナンス協会では、
 北海道地域の各社様の情報交換、情報共有の場をご提供することを目的に、
 2022年度から「北海道地区モノづくり・保全研究会」を開催しております。

日頃の困りごとの解決や、他社の取組み事例を知りたい方は、
この機会にぜひご参加いただき、参考となる情報を自社で活かしてみませんか？
(会員企業の方は参加無料)ですので、お気軽にご参加ください)



研究会概要	活動内容	● 設備管理・保全に関する情報交換ならびに相互研鑽 ● 設備管理、保全、モノづくり全般について先進企業の取組み紹介 ● メンバー企業の工場見学 など 2回/年を開催予定(2025年度)
	参加対象	● 設備保全、設備管理全般の管理者およびご担当の方、人財教育の企画、実施のご担当の方